

2019 年度教育懇談会開催結果報告

1 開催趣旨

市の教育方針や具体的な取組、少子化による教育の諸問題等について、市民へ情報提供を行い、意見交換を行う。

2 開催状況

開催日	地域	出席者数 (事務局除く)	アンケート 回収数
7月18日(木)	日高	67名	52件
7月22日(月)	出石	48名	29件
7月23日(火)	城崎	14名	5件
7月25日(木)	但東	66名	39件
7月29日(月)	豊岡(港地区)	65名	27件
8月6日(火)	豊岡(港地区除く)	75名	41件
8月8日(木)	竹野	93名	58件
合 計 (7か所)		428名	251件

開催時間 各会場とも 19:30~20:30頃まで(一部会場では最大20:50頃まで延長)

3 主な説明内容

- (1) 市の人口、児童・生徒数減少の状況
- (2) 小規模校の現状
- (3) 今後、学校の適正規模・適正配置にかかる学校再編審議会(仮称)を設置し、検討を行う
- (4) 審議会での検討を待てない地域は、個別対応を行う

4 意見交換での発言について(主な意見)

- (1) 人口減少に対して、もっと対策をとるべき。
- (2) 子どもの医療無償化、高校の授業料無償化等を行って欲しい。
- (3) 小中、小中だけでなく高校とも連携を。
- (4) 子どもの人数減、小規模校の課題についてもっと情報公開をするべき。
- (5) もっと、突っ込んだ話が聞けると思った。
- (6) 極小規模校の地域に(または就学前の子を持つ保護者に)個別にもっと詳しい説明をしてもらえないか。
- (7) 地域で統合の話が出ているがなかなかまとまらない。市の主導で統合の話をしてもらえないか。
- (8) 幼・小・中とも校区の再編等を検討して欲しい。

5 アンケート調査

(1) 教育プランに対する意見

ア 良い取組だと思う

【具体的な意見（例）】

- ・日本人特有のおとなしさ（前に出ない）、自分はどうしたいのかなど、主体的な行動が苦手な傾向にある。大人になり仕事をするようになると、その差が明らかに目立つようになる。その点で、主体的な学びの機会はとても重要であるとする。また、厚みのある人間性を育むために、演劇だけではなく、幅広く文化芸術を学ぶ機会が重要であるとする。

ほか

イ ふるさと教育についての強化・周知を

【具体的な意見（例）】

- ・ふるさと教育の充実は、人口減少、人口流出を解決するためにも重要と思っており、一層の推進を願っている。

ほか

ウ 英語教育やふるさと教育よりも一般教科が優先ではないか

【具体的な意見（例）】

- ・英語教育やふるさと教育より一般教育（国語力、数学力）を向上させる教育プランを考えて欲しい。

ほか

(2) 少子化による教育の諸問題やその解決方法等、その他意見から

ア 統合を求める意見

【具体的な意見（例）】

- ・こども園、小学校の統合を望みます。ある程度の集団の中で子どもが育つ必要性があると思う。学校で毎日学ぶのは地域の方（高齢者）ではなく、子どもである。（もちろん、地域の方との適度な交流は必要ですが…）私のまわりの未就学児をもつ方も多くが統合を望んでいる。複式学級を避けたい。

ほか

イ 統合に反対する意見

【具体的な意見（例）】

- ・少人数を活かした教育を大切にすべきであって、安易に統合すべきではない。逆に少ない教育を活かして人を集める工夫があっても良いのではないか？あまり不安をあおってはいけないと思う。

ほか

ウ その他

- もっと情報発信や地域との議論が必要
- 教職員の資質向上等
- 乳児医療や授業料の無償化等
- 校区の見直し等